

こども学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
2年	71	子どもの健康と安全

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CS-1-CRE-20				
	●	●								
科目名	子どもの健康と安全				単位 認定者	田中 希代子		評価の方法	試験 (レポート) (筆記)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	こども学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	15 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	15 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について、関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、子どもの発達や状態に即した適切な対応について等、具体的に理解する。さらに、子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する。									
到達目標	主に乳児に焦点を当て、発育の時期に応じた育児に必要な知識や具体的な技術を習得する。子どもの健康増進のための基本的知識や援助、緊急時の応急処置を理解する。									
学修者への期待等	授業で扱う教材等は丁寧に扱うこと。模擬演習が主体なので動きやすい服装で望むこと。沐浴時はエプロン、バスタオル、調乳時はマグカップを各自持参してください。									
回	授業計画					準備学修				
1	乳児の抱っこおんぶの仕方を学ぶ(実技)					乳児の身体の特徴を復習しておくこと(概ね1時間)				
2	排泄 排泄の仕組みと観察の要点 おむつ交換を学ぶ(実技)					第3章 第5節「排泄」について予習しておくこと(概ね1時間)				
3	衣服 衣服の選び方 着脱の方法(実技)					第3章 第7節「衣生活」について予習しておくこと(概ね1時間)				
4	清潔 沐浴① 沐浴演習(実技)					第3章 第6節「身体の清潔」について予習しておくこと(概ね1時間)				
5	清潔 沐浴② レポート作成(幼児視野体験)									
6	応急手当① 外傷 骨折 捻挫の手当て 包帯法(実技)					第6章 第4節「応急手当」について予習しておくこと(概ね1時間)				
7	応急手当② 火傷 溺水 熱中症 誤飲 窒息の対処法					第6章 第4節「応急手当」について予習しておくこと(概ね1時間)				
8	蘇生法① 事故防止 心肺蘇生法を学ぶ(実技)					第6章 第5節「救命手当と危機管理」について予習しておくこと(概ね1時間)				
9	蘇生法② 事故防止 レポート作成(保健だより)					第6章 第5節「救命手当と危機管理」について予習しておくこと(概ね1時間)				
10	調乳① ミルクの作り方 調乳器具の消毒方法(実技)					第3章 第2節「子どもの栄養と食事」について予習しておくこと(概ね1時間)				
11	調乳② レポート作成(母乳の特徴とミルクの特徴 ミルクの種類)					第3章 第2節「子どもの栄養と食事」について予習しておくこと(概ね1時間)				
12	身体測定					第2章 第4節「子どもの成長発達の評価」について予習しておくこと(概ね1時間)				
13	症状の対応① 発熱 痙攣 腹痛 嘔吐 下痢 便秘					第4章 第2節「一般的な症状に対する看護」について予習しておくこと(概ね1時間)				
14	症状の対応② 薬の与え方 電法 エピペンとは					第4章 第2節「一般的な症状に対する看護」と第6章 第5節「救命手当と危機管理」について予習しておくこと(概ね1時間)				
15	感染予防 手洗いの仕方					第5章「感染の予防」について予習しておくこと(概ね1時間)				
教科書	『子どもの保健・実習―すこやかな育ちをサポートするために』兼松百合子他編著、同文書院									
参考文献	なし									
備考	授業内課題については、内容を確認し、次回以降の授業でコメントします。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)